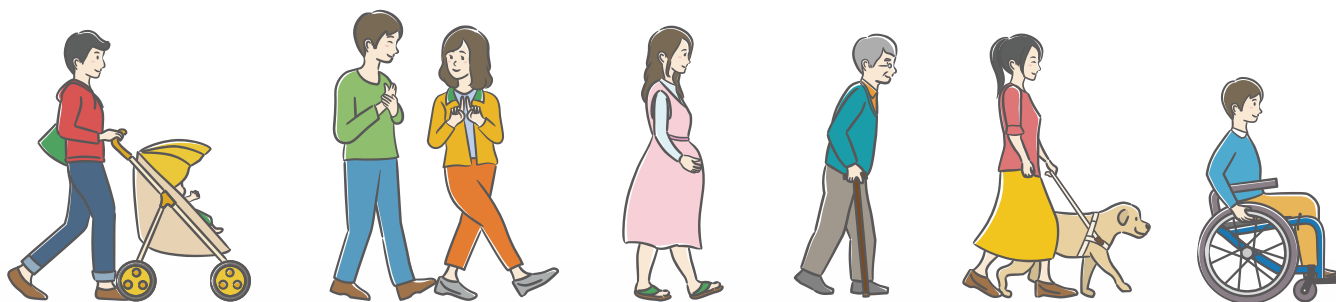


東京都福祉のまちづくり推進計画

(2019年度～2023年度)

～ユニバーサルデザインの先進都市東京をめざして～

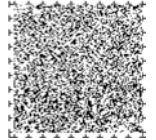


平成31年(2019年)3月



このマークは、目の不自由な方などのための「音声コード」で、コードの位置を示すために切り込みを入れています。専用の読み上げ装置で読み取ると、記載内容を音声で聞くことができます。





ユニバーサルデザインの先進都市東京をめざして

東京に人口減少と超高齢化という二つの大きなうねりが押し寄せています。そうした状況の中で、東京が活力を維持し、持続的な成長を遂げるためには、障害の有無や年齢、性別、言語などに関わらず、誰もが生き生きと暮らし、活躍できる社会「ダイバーシティ」をつくっていかねばなりません。

東京都はこれまで、ユニバーサルデザインの理念の下、東京都福祉のまちづくり推進計画を策定し、都内の鉄道・路線バスなどの公共交通や道路・建築物・公園等のハード面のバリアフリー化を着実に進展させるとともに、誰もが必要な情報を容易に入手できる情報バリアフリーの推進や心のバリアフリーの普及などのソフト面の取組を実施してまいりました。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催まで1年あまり。私は、史上初めて2度目のパラリンピックを開催する都市として、「ダイバーシティ・東京」を実現すべく、東京からあらゆるバリアをなくしていきたいと考えております。

そこで、社会環境の変化に柔軟に対応していくとともに、継続的改善を図りながら施策のレベルアップを図っていくため、平成31年度（2019年度）からの5か年を計画期間とする新たな「東京都福祉のまちづくり推進計画」を策定しました。

この計画は、「誰もが、自分の意思で円滑に移動し、必要な情報を入手しながら、あらゆる場所で活動に参加し、共に楽しむことができる社会」を目指し、当事者の参加やその意見の反映等に留意しつつ、「円滑に移動できるバリアフリーの更なる推進」など、5つの視点に立った様々な施策から構成するものです。

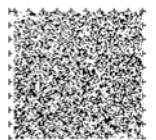
東京 2020 大会とその先を見据え、東京に暮らし東京を訪れる全ての人が、安全、安心、快適に過ごすことができるよう、東京都は、都民や事業者の皆様、そして区市町村と手を携え、ユニバーサルデザインの先進都市東京の実現に向けて、一層の施策の充実に努めてまいります。

皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

平成31年（2019年）3月

東京都知事

小池百合子



目 次

■ 第1章 福祉のまちづくり推進計画の基本的考え方

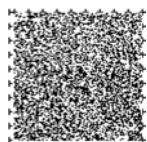
1	計画策定の経緯	2
	(1) 都における福祉のまちづくりの取組	
	(2) 福祉のまちづくり条例の改正	
	(3) 新たな計画策定に向けて	
2	計画の位置づけ	4
	(1) 計画策定の趣旨	
	(2) 計画期間	
	(3) 関連する他の計画との関係	
3	計画の目標	5
4	5つの視点	6
5	計画の推進体制	7
6	計画の進行管理	9

■ 第2章 都におけるバリアフリーをめぐる現状

1	社会的背景	12
2	我が国等の動向	15
	(1) 障害者権利条約の批准と国内法の整備	
	(2) ユニバーサルデザイン 2020 行動計画の策定	
	(3) Tokyo 2020 アクセシビリティ・ガイドラインの策定	
	(4) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律等の改正	
3	世論調査等の結果	18

■ 第3章 福祉のまちづくりの分野別施策

1	誰もが円滑に移動できる交通機関や道路等のバリアフリーの更なる推進	26
	(1) 交通機関におけるバリアフリー化の推進	
	(2) 道路におけるバリアフリー化の推進	
	(3) 面的なバリアフリー整備	



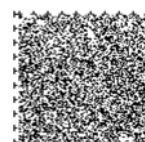
2	全ての人が快適に利用できる施設や環境の整備	43
	(1) 建築物等におけるバリアフリー化の推進	
	(2) 公園等におけるバリアフリー化の推進	
	(3) 公共住宅の整備・民間住宅の整備促進	
3	災害時・緊急時に備えた安全・安心のまちづくりの推進	63
4	様々な障害特性や外国人等に配慮した情報バリアフリーの推進	70
5	都民等の理解促進と実践に向けた心のバリアフリーの推進	78

■ 第4章 計画事業の展開 92

用語解説	124
------	-----

資料

福祉のまちづくりの経緯	130
東京都福祉のまちづくり条例	133



コラム一覧

①都営交通のバリアフリーの取組について	38
②環境性能の高いユニバーサルデザインタクシーの普及	40
③利用者本位のターミナル実現に向けた取組	41
④多様な利用者の視点を生かしたユニバーサル社会の実現に向けた取組	53
⑤ユニバーサルデザインによる環境整備（座れる場づくりガイドライン）について	55
⑥アクセシブル・ツーリズムの推進について	56
⑦アクセシビリティ・ワークショップについて	58
⑧トイレの機能分散について	59
⑨当事者点検を踏まえた施設設備のバリアフリー化について	61
⑩自然公園におけるバリアフリー化の取組	62
⑪災害に備える「地域のたすけあいネットワーク（地域の手）」	68
⑫防災ブック「東京防災」・「東京暮らし防災」について	69
⑬当事者参加による地域のバリアフリーマップ作成	76
⑭とうきょうユニバーサルデザインナビ（UDナビ）	77
⑮障害者差別解消条例に関する取組	86
⑯心のバリアフリー好事例企業	88
⑰当事者参加によるユニバーサルデザインガイドブックの作成（普及啓発）について	89
⑱小学生へのユニバーサルデザイン出前講座による意識啓発	90

